

健保組合では、家庭の置き薬、つまり、夜間とか休日に医者に行かなくても、自宅にある置き薬で早く治してもらえるようにという主旨で、家庭常備薬の斡旋事業を行っています。

ムラタ健保では、商品価格(一定の種類)の約3割程度を補助して、被保険者のみなさんに斡旋しています。

最近では、24時間営業のドラッグストアもありますが、地域によってマチマチであり、また、いちいち買いに行かなくても良いため、家庭常備薬のニーズは健保統合後も根強く、今後も継続していく計画です。

